

道

2019・9・4

通信 No 1550



《本日は3部練習中山先生》

- ・若きシベリア (p)
- ・ソルモヴォの抒情歌 (P)

《9/11(水) 練習は小坂先生》

- ・わたしの野原よ (P)
- ・マロースカ (冊子)

本日の片づけはソプラノとバス

《 待望の合唱団「道」ロシア民謡・愛唱歌集第5集が完成しました。》 敬称略
検討委員 淵 石田 岡田 菅野 加藤 (絹) 古岩井 朝倉(き)
紹介リーフレット (案) 作成 岡田紀久生
CD作成・歌曲集編集・発注 石田勉

創立50周年記念事業として企画されたもので第4集以来17年ぶりの発行になります。私たちが歌ってきた合唱譜を形に残し、歌い継ぎたい曲を団員アンケートなどで選んで歌集にまとめてきました。これまで全5集158曲 (総目次は歌集第5集にあります) におよびますが、50年間に歌ってきた曲からすればまだ一部です。

それだけ厳選されたロシア民謡、その他の愛歌曲の集大成は、合唱団「道」にとどまらず貴重な文化財産ではないかと思えます。第5集には、「アムールの大地」「キエフの鳥の歌」「どん底の歌」「果てもなき荒野原」など33曲を収録しました。よく知られた曲や合唱団「道」が初演した曲など色とりどりの宝石箱です。

また、第5集には2つの付録がつけられています。収録曲の簡単な紹介リーフレットおよび全曲の演奏CDです。演奏はすべて合唱団「道」の過去の演奏会での録音を使用しました。歌集は団員用として発行しています。外部への販売はしていませんが、合唱譜をお探しの方はご相談に応じます (石田)

第5集の中身を見てみました。中山英雄編曲・訳詞 23曲。青山義久編曲はウクライナ民謡2曲 (森はざわめく、キエフの鳥の歌) 岩河三郎編曲の黒い瞳は「道」のカラーを破りピアノ伴奏も聴きごたえがありましたね。

第5集の特徴は「道」の団員が訳詞した4曲。青いプラトック、枯葉、わにのゲーナのうた、そら色の列車が収録されていることでしょう。(故渡部幹夫 元団員佐々木節子 現団員石田勉) 歌う事だけでなく、新しい歌を発掘し皆さんに聴いて頂くことにも心血を注いできた 17年だったと思います。(朝倉きみ子)

《今後の会議》

9月18日(水) 16:00~ 企画選曲委員会 県民サポートセンター 702号
9月25日(水) 16:00~ プログラム等委員会 県民サポートセンター703号